

MIDOKORO



★01 OTARU MUSEUM

小樽市総合博物館
手宮1丁目3-6 / 0134-33-2523



蒸気機関車「しづか号」をはじめ、北海道を代表する50両もの鉄道車両が保存・展示されている。北海道の鉄道の歴史を紹介する常設展示や、体験を通して学習できる科学展示室があり、土、日、祝日はチャレンジラボで簡単な実験や工作もできる。



★02 OTARU MUSEUM (ANNEX)

小樽市総合博物館 運河館
色内2丁目1-20 / 0134-22-1258



美しく豊かな自然と活気ある人々の交流に育まれた小樽の歴史と自然を知ることができる。歴史的建造物「旧小樽倉庫」を利用した館内には、北前船やニシン漁業、小樽の古写真や古地図を展示した第一展示室と、動植物の自然資料を展示する第二展示室があり、小樽市のあゆみと自然環境を学べる。



「北運河」で時間旅行。

海運業や鉄道などで栄えた小樽の歴史を肌で感じる「北運河」。観光船や運河クルーズで海や運河を楽しんだり、博物館で歴史に触れたり、北運河散策路や旧手宮線跡地を歩いたり、徒歩圏内で色々な「小樽」を満喫できます。

また、このエリアには石蔵倉庫や歴史的建造物が点在し、新旧の個性的な店が並びます。古い建物でゆったりとお買い物したり、CAFEでランチやコーヒーブレイク、夜は美味しいお酒や食事を楽しんだり、「北運河」に流れる小樽時間をどうぞお楽しみください。

※ エリア内のお店、イベント情報

Kitaunga.Northsidewalk



日本遺産 JAPAN HERITAGE

「日本遺産」は地域の歴史的魅惑や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。



★03 CANAL PLAZA

運河プラザ
色内2丁目1-20 / 0134-33-1661



観光案内所として、小樽の穴場情報や後志管内のほとんどの観光パンフレットはここで揃えることができる。また、小樽のお土産を取り揃えた物販コーナーや休憩スペース、喫茶コーナー「喫茶一番庫」もある。



★04 OTARU CANAL CRUISE

小樽運河クルーズ
港町5-4 / 0134-31-1733

歴史とロマンの街小樽を再発見できる約40分の小さな船旅。個性あふれるキャプテンのガイドを聞きながら四季や時間帯によって様々な小樽の景色が楽しめる。



★05 CRUISE SHIP DOCK

小樽海上観光船
港町4-2 / 0134-29-3131

海上観光船「あおばと」で小樽水族館や緑御殿へ向かう祝津航路、断崖絶壁の景勝が楽しめるオタモイ航路がある。のんびりと小樽港周遊を楽しめる屋形船もある。



- CAFE & RESTAURANT
- BAR
- SHOPPING
- RENTAL SPACE, GALLERY
- HOTEL
- PARKING LOT
- INFORMATION CENTER
- PHOTO SPOT
- 日本遺産文化財
- 国指定重要文化財
- 市指定有形文化財
- 市指定歴史的建造物

OTARU MAP 01

KITA UNGA

North side walk

OTARU FAVORITE PLACE

KITAUNGA PROJECT

編集/制作/デザイン：小樽百貨UNGA1
協力：石と鉄 STONE and IRON、
小樽市総合博物館、
一般社団法人 小樽観光協会
協賛：掲載各社
発行：KITAUNGA PROJECT
問い合わせ：sales@unga-plus.com
※無断転載禁止

01. Gift & Select Shop

小樽百貨UNGA↑



色内2丁目1-20
0134-65-8150

北前船主が作った北海道ではじめての営業倉庫「旧小樽倉庫本庫」を改装。小樽の魅力満載のオリジナル商品や北前船寄港地の良品をセレクトした新感覚SHOP。2階ギャラリーで企画展も開催。



02. Sweets & Restaurant

ル・キャトリエム



色内2丁目3-1
0134-27-7124

ケーキといえばココ!というファンも多い洋菓子店。ショーケースにならんだケーキは、どれも魅力的。イトイン限定のデザートや、2Fではランチタイムにフランス料理を提供している。



03. Live House & Bar

GOLD STONE



色内3丁目3-21
0134-33-5610

北運河のシンボルのひとつ、旧澁澤倉庫を使ったライブシアター兼レストラン。併設するカフェはノスタルジックな雰囲気の中、北海道ならではの料理やワイン、自家製スイーツが楽しめる。



04. Cafe & Restaurant

PRESSCAFE



色内3丁目3-21
0134-24-8028

旧澁澤倉庫の一角にある木骨石造りの店内は、高い天井と運河側にある大きな窓が特徴。落ち着いた時間を過ごせる空間でスペシャルティコーヒーとオリジナルレシピのインドカレー等を提供。



05. Coworking Cafe & Bar

THE HARBOR



色内3丁目8-2
0134-64-7280

2019年に閉店した喫茶店の歴史ある建物の思い出を残しつつ、新しいスペースとして生まれ変わったカフェではオリジナルホットドックが人気。2Fはレンタルスペースとして利用できる。



06. Brewery

田中酒造本店



色内3丁目2-5
0134-23-0390

小樽の地酒「宝川」が楽しめる老舗造り酒屋の本店。こだわりのお酒を試飲してゆっくり買い物ができる。市の歴史的建造物に指定されている店舗は昔の造り酒屋の雰囲気をそのまま残している。



07. Craft Beer & Hostel

OTARU TAP ROOM



色内2丁目4-8
090-1648-7397

国内外のクラフトビールを揃えた立ち飲みビアバー。気分で選べる樽生クラフトビールをアメリカン・メキシカンフードと共に。木のぬくもりが感じられるアットホームな滞在を楽しめるホステルもある。



08. Zakka Shop

VIVRE SA VIE + MI-YU



色内2丁目4-7
0134-24-6268

元は文具卸問屋だったという「旧早川支店」を利用したや生活雑貨や文具のお店。建物とセレクトされた雑貨が柔らかく交わり、醸し出される空間。ゆっくりと過ぎる時間が心地よい。



09. Restaurant

洋食屋マンジャーレ TAKINAMI



色内2丁目1-16
0134-33-3394

1995年開店の地元小樽、後志産の海・山の幸を味わえる洋食店。一部に昔の木骨石造倉庫を残した小樽の歴史を感じる店内でパエリアなどの洋食を楽しむ。



10. Firewood Steak

ISO



色内2丁目2-14
0134-31-1888

歴史ある赤煉瓦の「旧磯野商店倉庫」を改装。薪焼きステーキをはじめ、四季折々の後志、北海道産の食材に拘った料理を味わえる。冬は薪ストーブの音を聞きながら飲めるのも嬉しい。



11. Canvas Craft

佐々木縫製所



色内2丁目10-15
0134-22-5336

1945年創業、元は船の帆として使われた帆布を素材にしたバッグや小物の製造販売。変わらずに受け継がれてきた職人の気質と技術を忘れず、細部にまで徹底して拘ったプロダクトを製作している。



12. Cafe & Bar

石と鉄 STONE and IRON



色内2丁目2-8
0134-61-1214

小樽の歴史のある石蔵を改装した店内で、1Fはカフェバー、2Fはホステルを運営。ランチは地元の食材を使ったグリーンカレーセットが人気。夜はお酒と本格的なディナーを味わえる。



★06 THE FORMER OTARU BRANCH OF NIPPON YUSEN CO.

旧日本郵船株式会社小樽支店 / 色内3丁目7-8 / 0134-32-4111(内線531)
(※現在は保存修理工事のため、外観・内観ともに非公開)

明治39年10月に落成した近世ヨーロッパ復興様式の石造2階建建築。北海道開拓の拠点として発展していた小樽では、当時の一流建築家達によって多くの建造物が次々と建てられた。旧日本郵船(株)小樽支店はその中でも象徴的なもので、明治後期の代表的石造建築として国の重要文化財に指定されている。



★07 CANAL PARK

運河公園 / 色内3丁目6

旧日本郵船(株)小樽支店専用の船入洞(船着き場)と倉庫があった場所。運河建築以前から物流の拠点として多くの物資と人が行き交った小樽の玄関。



★08 FORMER TEMIYA RAILWAY

旧国鉄手宮線跡地 / 色内1丁目

旧国鉄手宮線は明治15(1882)年、幌内炭山(三笠市)から石炭を運ぶために建設された「官営幌内鉄道」をルーツにもつ。開通当時はわずか年13,000トンの石炭輸送であったが、明治末には270,000トンにまで増加した。この石炭が日本の近代化の原動力となり、その近代化へのレールを敷いたのがこの鉄道である。散策路全線にわたって、軌道と枕木が残され、時間旅行に似せられるような空間である。



★09 COMMUNITY SPACE RAILWAY

コミュニティスペース「レールウェイ」
色内2丁目13-15 / 080-5423-7650

旧国鉄手宮線に隣接するコミュニティスペース&カフェ。ランチあり。日本遺産・鉄道遺産パンフレット類を無料配付。線路脇に一休みできるベンチもある。

